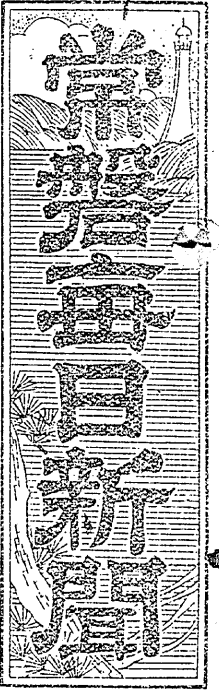


刊夕日九廿月二



定価一冊五錢... 発行所 警報社 東京市本町三丁目

### た力生活より能動生活へ (下)

高 巢 寛 爾

私は茲に立憲國民の意志を代表する法律に於て只一二の例を採つたに過ぎませぬが、諸君は改造す可き周圍の傳統習慣に圍繞され、今や窒息状態にあり乍ら中毒的な無意識に憂如たる有様でないか、何人が言ひきることが出来ませうか。

さて斯の如くであります。人間は初め實生活の便宜や秩序から習慣を創造したのであります。永き時代の洗練を受けて今日と雖も些の變革の要なく却つて其維持を爲す可きものもありませう、此場合に於ける習慣の型態は猶惰性的

### 高月會句抄

(さえ返る)

戦友の計報なるや	牙え返る	耕	影
牙え返る小庭の隅の	斑れ雪	芝	草
水盤の床氣になりて	牙え返る	紅	果
隙洩りの風	牙え返る	孤	關
營門に立つ影	黒し	牙え返る	秀
劇はねて赤井	風や	さえ返る	耕
雞の羽ふくらみ	て	さえ返る	芝
さえ返る妻の手先	の	垢	さ
れ	かな	紅	果

(二月例會)

### 綴方

雪の日

阿 部 和 平

今日は朝から雨だ。十二時頃から雪になつた。この雪は僕等子供にとつては冬のおもちやである、あいにく雨あがりの道、庭には一つもつもらない。だが美しい真白な雪は學校の屋根を隠した。僕はさうした美しい光景にうつと見とれてゐた。すると級の一人が「すえぶん大粒だ」といつた。なるほど大粒だその大粒の雪が風の吹くたびに窓を開けて見てゐる僕の顔にあたる。高い曇つた空には蟲が飛ぶやうに黒く見える雪も下にくれば目のさめる美しい真白な雪だ。授業も始つた。級内は雪でにぎやかだ。僕の耳のせいかな雪が

屋根にのる音がひびく授業も終つてまた雪を見て去年の樂しかつた事を考へた家へ歸る頃は雪は止んで日

### 醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

志賀齒科醫院

### 器灸温ムウチラ

特卸 代理 治療 産婆 關口 悦子 福島縣平町五ノ廿八



當地方に於ける

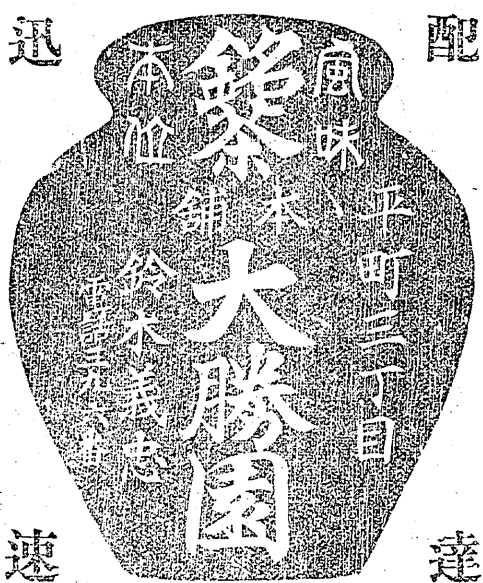
タクシー界のナンバーワン

最高級車プリモス號増車致しました 何卒御用命の程御願ひ致します

電話三九五番 セリザワタクシー

### お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ 煎茶四十目 入 十錢より 五十錢まで ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢 香りのよい家庭徳用別焙



迅

速

### 當辨入重御

寄なべ はまなべ 鳥なべ ちりなべ かきなべ ゼヒ一度御試食下さい 出前迅速 錦水 田町末廣東隣り(電話四五四番)

江戸前料理 合巻

### 科外

門 專 科 線 光 X 上田外科醫院 平町南町 電話二一九番

月曜言論

農村の大量購入と  
地方商店

平窪村の産業組合が舊年未だに贈答品の贈答を購入組合員に配分したのを初として郡内の産業組合が肥料から日用品に至る迄直接東京の間屋筋から共同購入し生活費の緩和を圖つて農家経営の一助に資する計劃の下に着々其の準備を進めて居るといふ、若し此の計劃が郡内限なく普及徹底すれば農村を顧客として門戸を張る地方商店は片押しに干上つて仕舞ふであらう、茲に此の計劃の成行如何は一種の社會問題として世人の一考を望まねばならぬ必然性を生ずるのである。

農村の自衛的立場から必需品の大量購入を爲すはよし、されど其購入先を必ずしも東京にのみ限定するの要ありや否や、受け渡しの煩瑣な手數や運賃等を計算に入れれば地方の商店と比較して五十歩百歩の差に過ぎざる程度ではなからうか、殊に日用品の如き多岐多様に亘り然も値段の浮動性に富むものは、商品智識に乏しい組合當事者が其取扱ひを爲すに當り土族の商法的ケタ違ひを生ずるの恐れなきを保し難し。

農村の人達が都合中心主義の幻影に唆かされて、自己の足下を忘却し殊更らに遠隔な都合に經濟的集中を

平町歳入出豫算

下段數字は前年度との比較△印は減

歳入の部	歳入の部
一、財産より生ずる収入	二八、三二七
二、使用料及手数料	二八、五二六
三、交付金	二、一七八
四、國庫下渡金	一五、二九〇
五、就學奨勵金	一、六一六
六、國庫補助金	八二五
七、縣補助	八四
八、寄附金	五五三
九、財産費拂代	九八九
十、繰越金	一〇〇
十一、新収入	一〇〇
十二、町税	一〇〇
十三、一四、九一九	一、一一七
十四、一四、〇五二	一、一一〇
十五、一四、〇五二	一、一一〇
十六、一四、〇五二	一、一一〇
十七、一四、〇五二	一、一一〇
十八、一四、〇五二	一、一一〇
十九、一四、〇五二	一、一一〇
二十、一四、〇五二	一、一一〇
二十一、一四、〇五二	一、一一〇
二十二、一四、〇五二	一、一一〇
二十三、一四、〇五二	一、一一〇
二十四、一四、〇五二	一、一一〇
二十五、一四、〇五二	一、一一〇
二十六、一四、〇五二	一、一一〇
二十七、一四、〇五二	一、一一〇
二十八、一四、〇五二	一、一一〇
二十九、一四、〇五二	一、一一〇
三十、一四、〇五二	一、一一〇
三十一、一四、〇五二	一、一一〇
三十二、一四、〇五二	一、一一〇
三十三、一四、〇五二	一、一一〇
三十四、一四、〇五二	一、一一〇
三十五、一四、〇五二	一、一一〇
三十六、一四、〇五二	一、一一〇

新事業の少い  
豫算内容

特別會計も抱擁  
戸數割増額

一、一〇五	三二	三、商業學校費	六五〇
二、一三〇	一、二二五	四、公園費	九七六
三、一〇〇	九七六	五、警備費	五四二
四、三五〇	二、二二四	六、傳染病院費	四、七九八
五、三五〇	二、三〇	七、寄附金	△一二
六、三五〇	二、二二六	八、補助金	九六六
七、三五〇	四、五二〇	九、町是調査費	一、八七〇
八、三五〇	二、五〇	十、土地買上支出額	△二五〇
九、三五〇	六、三五五	十一、訴訟費	三五一
十、三五〇	一、五	十二、役場費	一八八
十一、三五〇	一、八八	十三、水道費	二、〇〇〇
十二、三五〇	二、〇〇〇	十四、水道費	二、〇〇〇
十三、三五〇	三、一〇、七元	十五、水道費	△三、六五
十四、三五〇	△六、六七七	十六、水道費	△三、六五
十五、三五〇	△六、六七七	十七、水道費	△三、六五
十六、三五〇	△六、六七七	十八、水道費	△三、六五
十七、三五〇	△六、六七七	十九、水道費	△三、六五
十八、三五〇	△六、六七七	二十、水道費	△三、六五
十九、三五〇	△六、六七七	二十一、水道費	△三、六五
二十、三五〇	△六、六七七	二十二、水道費	△三、六五
二十一、三五〇	△六、六七七	二十三、水道費	△三、六五
二十二、三五〇	△六、六七七	二十四、水道費	△三、六五
二十三、三五〇	△六、六七七	二十五、水道費	△三、六五
二十四、三五〇	△六、六七七	二十六、水道費	△三、六五
二十五、三五〇	△六、六七七	二十七、水道費	△三、六五
二十六、三五〇	△六、六七七	二十八、水道費	△三、六五
二十七、三五〇	△六、六七七	二十九、水道費	△三、六五
二十八、三五〇	△六、六七七	三十、水道費	△三、六五
二十九、三五〇	△六、六七七	三十一、水道費	△三、六五
三十、三五〇	△六、六七七	三十二、水道費	△三、六五
三十一、三五〇	△六、六七七	三十三、水道費	△三、六五
三十二、三五〇	△六、六七七	三十四、水道費	△三、六五
三十三、三五〇	△六、六七七	三十五、水道費	△三、六五
三十四、三五〇	△六、六七七	三十六、水道費	△三、六五
三十五、三五〇	△六、六七七	三十七、水道費	△三、六五
三十六、三五〇	△六、六七七	三十八、水道費	△三、六五
三十七、三五〇	△六、六七七	三十九、水道費	△三、六五
三十八、三五〇	△六、六七七	四十、水道費	△三、六五
三十九、三五〇	△六、六七七	四十一、水道費	△三、六五
四十、三五〇	△六、六七七	四十二、水道費	△三、六五
四十一、三五〇	△六、六七七	四十三、水道費	△三、六五
四十二、三五〇	△六、六七七	四十四、水道費	△三、六五
四十三、三五〇	△六、六七七	四十五、水道費	△三、六五
四十四、三五〇	△六、六七七	四十六、水道費	△三、六五
四十五、三五〇	△六、六七七	四十七、水道費	△三、六五
四十六、三五〇	△六、六七七	四十八、水道費	△三、六五
四十七、三五〇	△六、六七七	四十九、水道費	△三、六五
四十八、三五〇	△六、六七七	五十、水道費	△三、六五
四十九、三五〇	△六、六七七	五十一、水道費	△三、六五
五十、三五〇	△六、六七七	五十二、水道費	△三、六五

百圓、暮の橋一千圓等を主とし勸業費にては昭和産業博覽會の水道及び電燈補給費として五百圓、同博覽會開催中の各種協賛費として一千圓また兵事方面で満州事變に際し在郷軍人分會の活動を促すものである爲め同會補助として三百五十圓を計上し此外平第一、第二、第三各小學校の學級増加及び平窪村よりの傳染病患者委託收容の爲め夫々多少の増額を示してゐる、一方財源としての歳入額は公有地整理に伴ひ町有地を坪當り百圓に付き一圓、八十錢、六十錢の三段階に依つて夫々使用料を徴收し得る額六百圓また從來電柱使用料一本に付き五十錢であつたのを一本に付き一圓五十錢に増し一二丁目排水路

工事に は地元より五千五百圓の寄附あり、平窪村傳染病患者收容に對しては平常一日一人に付三圓、閉鎖時の收容にありては一日一人五圓の外に年額三百五十圓の寄附あり此外特別税戸數割増前年度迄一戸平均負擔額十六圓であつたが同税は百分の六十迄を可とする

規定で ある爲め他地との状況も比較して百分の五十六となし本年度は一戸平均負擔額を十七圓五十錢に改めた

# 二勇士 骨遺る

## 来る八日平驛へ

去月廿日のハルビン附近の戦闘に名譽の戦死を遂げた石城郡飯野村出身山崎一好伍長並に植田町出身安島嘉一上等兵、同渡邊上等兵三氏の遺骨は來月六日若松第廿九聯隊留守隊に到着翌七日の慰靈祭を終へて八日午前五時二分若松驛發同日午前十時卅三分平着列車にて郷里へ向ふと

## 軍事講演

### 今晚丸友で

平在郷軍人分會にては今晚六時からマルトモ樓上に軍事講演會を開き尼港事變遭難只一人の生存者山本條三郎、前關東軍屬歩兵中尉鎌倉政明氏の講演ある由

## 再度の榮譽

# 仙協優勝

### 昨日の卓球大會 接戦の火華散る

平卓球協會主催大塚運道具店後援の第二回關東北卓球大會は昨日午前九時より平第三小學校講堂に於て開催されたが参加チームは左の十六組で頗る盛況を呈し

仙臺OB、警中職員、日立工專、平協會、常磐銀行B、日立A福島電燈、平一、二、三、常磐銀行A、東京鐵道、平和クラブ、農事試験場、磐炭便衣隊、仙臺卓球協會、平稅務署  
火華を散らす大接戦を展開左の如きスコアにて再び仙臺協會の優勝する處とな

常銀B	0	3	仙臺協
平協會	3	0	日立A
仙臺協	1	4	仙臺協
合浦津			浦松本
合林			佐藤生
合津			浦佐藤

## 釜戸

### 賑ひ豫想さる

古式の奴祭として知られてゐる石城郡渡邊村釜戸山諏

訪神社は毎年曆正月の廿七日、四月八日、七月廿七日の三回例祭を執行する事になつてゐるが来る舊曆廿七日の祭禮には個人祈禱の外に講中安全、兵工安全等の祈願者相次ぐ模様にて社務所係員は晝夜兼行にて準備中であるが靈驗彌高遠近からの参拜者が多い丈に當日の賑ひは非常なものであらうと豫想されてゐる

## 昭和産業博の協賛會を組織

### 區長を主体として

昭和産業博覽會にては廿七日午後七時よりマルトモ樓上に區長を招待し博覽會側から野崎産業獎勵會長、青沼協賛會長、伊東主事其の他出席、協議の結果協賛會は區長を主体として組織される事となり寄附金募集の方法等を附議する處あつたが副會長其の他役員は近く青沼會長より指名される筈

## 親戀しさに

# サツマの守

### 兒守りの少年

### 平署が保護中

昨廿八日午前十一時十八分の旅客列車内に無賃乗車の少年を驛員が発見事情を聞くと同人は宮城縣栗原郡花山村千葉夏吉長男友吉

## 小川海軍試験

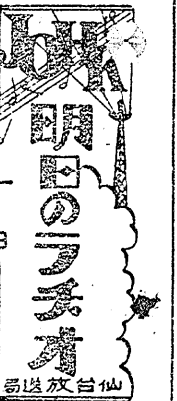
石城郡上小川村の海軍志願兵試験は來月三日より三日間小學校に行はれるが例年三四名の志願者であつたものが今年は六名に及んで居ると

## 古河の公休日

石城郡好間村の古河炭礦會社では來月中従業員の公休は六十、十三、廿、廿七の五日間に決定された

## 道路愛護

過般村井道愛護者として表彰された石城郡田入村宇入田人の青年分團代表藤川万壽吉氏外卅六名への表彰傳達式は昨廿八日午前九時より平土木監督所内にて小林所長より夫々傳達された



今朝氣天 今晩も明日も北西の風晴れ

## 今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) 後八、〇〇(古賀聯隊長の夕報知新聞社主催報知講堂より中継) (挨拶) 報知新聞副社長寺田四郎(所感) 參謀次長眞崎甚三郎(合唱) 古賀聯隊長の歌 J. O. A. K. 唱歌隊(筑前琵琶) (軍神) 古賀聯隊長(高峰筑風) 浪花節 あ、古賀聯隊長(東家樂燕)

## 明日の部

後九、三〇(奉天より) 後九、四〇(全國ニュース) 氣象通報 番組預告 前九、一〇(料理献立) 雑の節句料理 阿部やへ 前一〇、二〇(家庭講座) 「雜菓子三種」 豆煎白酒 室瑞 櫻餅 梅田 橋菓 後一〇、〇五(落語) 天災 柳家齋三郎 後二、〇〇(家庭大學講座) 心得置くべき醫學の知識

## 朝から晩まで

# 酒びたり

### 主人が恐るく伺へば 大ボラを吹いて雲を霞た

石城郡小名濱町宇古港木賃宿加藤要藏方に廿六日より宿泊中の自稱郡馬城根郡古牧村生れ木炭外交員木村修治(三)は木炭の賣込に來たと稱しながら一向商賣にも出掛ず毎日宿に引込み酒ばかり飲んで居るので主人が不審を抱き昨廿八日四時頃宿代及び飯酒代を請求した處現在持合せ無いが勿來町の取引店に行けば四十圓ばかり取れる當有るからと出掛た儘行衛を晦して了つたので宿の主人は同人の捜査願を平署に出し來

## 坑夫卅名

# 募集

### 古河礦で

石城郡好間村古河炭礦では來月より採炭能率の増加を計る爲め目下採炭夫卅名の募集を行つて居るが採用條件が相當嚴重なため現在定員迄の採用に至らぬとの事である因に採用條件としては身長五尺二寸以上、体

## 波亂なしに

# 踏襲

### 三日に再開

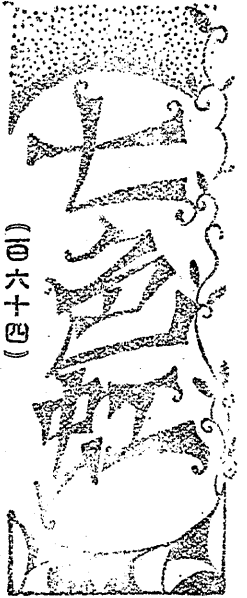
平町の豫算町會は昨廿八日午前十時より町會議事堂に於て開會議案を配附して伏見町長より豫算内容の説明あり閉會、議案調査の爲め本日より三日間休會し三日再會全員を二分して豫算及び決算委員となし直ちに委員會に移る筈であるが時節柄に鑑み目星しい新規事業もなく前年度を踏襲すべく遣り繰つて編成された豫算である丈に別段の波瀾なしに済む模様である

## 上海事變説明

石城郡磐崎村第一小學校では三月十九日午前九時より同校講堂内で兒童の學藝會を催すが同村在郷軍人分會有志が目下の上海事變に就き説明を行ふと



小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

「いえ、あ……姐さんの方で」  
『この歌治が……おい餘計なことをするなよ。藝者に買はれに來たお客さまぢやねえんだ。』

いくら尾羽打枯らしたつてな、おい、十文字はまだそんな見つともない直似はしないから、然う思つてくれ。よし、それぢや階下に行つて拂ひをするよ。

沸然として席を立つた彼は、夜袴にかけたインパネスをとつて引つかけた女中は驚いて女將を呼ぶべく出て行つた。

黙つて冷たい目にその様子を眺めてゐた歌治は、手荒く襖をあけて男が飛出さうとした途端に、いきなり立揚つて継りついた。  
『貴郎、ちよいと待つて頂戴。まだ話があるんだからさ。ちよいと貴郎ッてば』

『止めるな。話すだけのこと。』  
『前は用はない、未練もないさ放してくれ』  
『だつて此儘に別れつちまたんぢやあ、私、心持が悪いから貴郎は僻みを起してゐるんだわ僻みよ僻みよ……あ、貴郎に疑はれるやうな、ぞ』

「なんふじつなことは……私の心は底まで知つてゐるに……それぢや餘り惨いわ」  
「され、の呼吸の下から、悠ういふ時に燃えるやうな腫を裂いて白い雫がぼろ／＼と頬に走つた。」

ならないかも知れない。眼の前に動いてゐる物は皆な嘘だ。嘘のかたまりだ。嘘の空気を吸はして、無理に生かしてそして惨らしく責めさいなむのだ。放せッお煩悶の結果少しの事にさ、兎角に天を怨み人を咎めだつて、女將がその座敷へ入つて來た時には、歌治一人が襖の際に脇を落してさめ／＼と泣いてゐた。『如何したつてえの、歌ちゃん。久々で遇つたてえのに口舌別れをしちまつたんぢや詰らないぢやないの。何だかね妙にぶん／＼して階下へを



『何を言つてゐるんだ。その私の心銘々の私の心があてになつたら十文字はここのな惨めな体になりやあしな、世の中は皆な仇敵だ仇敵になつて僕を虐めるんだ僕自身より外に僕自身に味方はないのだ。いや僕に味方する僕自身でさへ頼みに

うなことを……いえ女中さんには科はないんです歌治は顔をあげて体面悪うに、險の邊を拭きながらあの人の十八番なんですのよあれはだつてお前さん、怒らしぢやあ詰らないわ。氣心の知れない初會のお客ぢやあるまいし。何も角も分つてゐるに腕が無さ過ぎるわよ。それぢや。  
悠う虐められると歌治は餘計に悲しくなるのであつた。  
勿論男の氣心はよく知れてゐた。知れ切つてゐるながらもその前に出ると、どういふものか。

**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病  
**淋病** 腸虫病 十二指腸

院醫科 腸病 胃性 村松  
○七一話電 町南平

科人婦。科外  
**院醫坂井**  
町田町平  
番九五五話電

大塚の **學生靴!!!**  
耐久新製品  
編上靴 六・〇〇  
半靴 五・〇〇  
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……  
大塚支店製靴部  
電話七七番

正確な時計  
お客様本位の……  
好適の眼鏡  
王常盤屋時計店

**吉田眼科病院**  
平野屋町、電話六八番

まあ！  
よく、此の品が  
こんな。お安く  
頂けますこと  
わたし  
お隣ひもりへ  
お奨め  
しませうかしら

**炭石**  
**スガコ**

(良い品を安く賣る店)  
電二三七番  
**阿部石炭商店**

美味！  
芳醇！  
**宗正らひた**  
山崎合名會社  
電話一〇番

徳島 徳島 徳島  
徳島 徳島 徳島  
徳島 徳島 徳島